

ずいひつ No.116

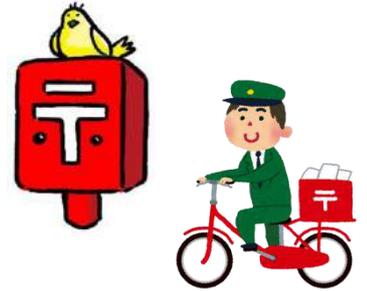


2016年1月25日発行

年賀状 -郵便局の裏側-

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

皆さまは毎年、年賀状を出していますか？一年に一回年賀状でしか近況を知らせないなんてこと、少なくないですよ？そこで、その年賀状がどのような過程で皆さまのお家まで届けられているのか…ほんの少しお話ししたいと思います。



毎年、郵便局の風物詩のように年賀状仕分けのアルバイト求人があり、場所にもよりますが大きな郵便局であれば高校生を中心に150人程度の募集がなされます。そして、そのアルバイトたちがクリスマス過ぎた頃から郵便局へ集結して「元旦配達」を第一目標に年賀状の仕分け作業が本格化させます。仕分け作業は年が明けた三が日頃まで続きます。そのアルバイトたちが一番最初に郵便局の職員さんから取り扱いを徹底する様に言われることがあります。それは郵便局ならではの…そうです“個人情報”です。郵便局は個人情報で溢れかえっている場なのでその分とても慎重に取り扱う様徹底されています。

仕分け作業の際ははがきの裏側を見ることも禁止されていますし、作業上知りえた「〇〇さんが××くんへ年賀状出してた！」何てことを家族であっても話してしまえば個人情報保護法違反になってしまいます。単純な仕事ですがとても責任のある仕事でもあります。



年賀状を元旦に確実に届けたいのであれば12月25日までにポストへ投函してください。

毎日大量の年賀状が郵便局に届きますが、そのほぼすべてを機械で処理をして一軒一軒のお宅ごとに仕分けします。しかし、読み取りにくい文字や間違った住所があればおかしな場所へ運ばれてしまうこともあるので要注意です。そして、ここからがアルバイトたいの仕分け作業本番です！機械によってより分けられた年賀状を、あとはひたすら住所録とにらめっこしつつ世帯ごとに仕分けていきます。地味で立ちっぱなしの作業ですが、頑張れば頑張るほどに元旦にお届けすることが出来る年賀状が増えると思うとやりがいがあるってものですよ。アルバイトが住所ごとに組み込んだ年賀状たちは、間違ったところへ入れ込んでいないか一枚一枚郵便局員の方がきちんと確認します。“誤配”をさけるべく最大限の努力をしているのです。そして、元旦に、一枚でも多く年賀状を届けられるよう、持出準備のギリギリまで作業しているのです。年が明け元旦を迎えると、華々しい配達式が行われて各家庭の皆様へ年賀状が配達されて行きます。



現在、楠元図書館1階のコンセプトコーナーでは「手紙」をテーマとした図書を展示しています。これを機に身近な人、久しく会っていない人へ手紙や年賀状を送ってみませんか？